

Cisco 7600 シリーズ 1 ポート OC-48c/STM-16 POS 拡張オプティカル サービス モジュール

サービスプロバイダーの統合アクセスポイントに適した高密度 OC-48c/STM-16 接続および IP または MPLS コア ネットワークを通じたサービスの提供

インターネット対応のユーザアプリケーションの急成長に伴い、サービスプロバイダーネットワークにより提供される帯域幅は増大する一方です。この成長を支えるために、サービスプロバイダーは、従来型のレイヤ 2 WAN サービス（フレームリレーや ATM など）を提供する既存のネットワークアーキテクチャとレイヤ 3 WAN サービス（高速インターネットアクセスやレイヤ 3 VPN など）アーキテクチャとの統合を進めています。このようなネットワークの統合によって、すべてのネットワークサービスが同時に強化されるような、最適な設備投資が可能となります。

図 1

Cisco 7600 シリーズ ルータ用の 1 ポート OC-48c/STM-16 POS 拡張 OSM



ネットワークの統合を実現するのは簡単なことではありません。特にネットワークの集約ポイントには、さまざまな条件が要求されます。集約ポイントに配置するネットワークデバイスは、レイヤ 2 とレイヤ 3 の複数のサービスを提供すると同時に、顧客のアクセスノードからコアネットワークへ、またその逆方向へ、ネットワークトラフィックを効率的に転送できなければなりません。さらに、このような集約デバイスは、アクセスネットワークとコアネットワークの間の帯域幅やインターフェイス密度の拡張性、多様なネットワークプロトコル、Quality of Service (QoS; サービス品質)、セキュリティ、アカウントिंगの機能、そして既存の SONET インフラストラクチャとの互換性も兼ね備えている必要があります。

Cisco[®] 7600 シリーズ ルータは、統合ネットワークアーキテクチャのネットワーク集約デバイスに必要なパフォーマンス、密度、機能を備えています。既存の SONET インフラストラクチャ上で集約サービスを提供するために、Cisco シリーズのルータには、Cisco 1 ポート OC-48c/STM-16 Packet over SONET (POS) 拡張 OSM (オプティカル サービス モジュール) など、各種の SONET インターフェイスカードを搭載できるようになっています。拡張 OSM は、Cisco Parallel Express Forwarding (PXF) ネットワークプ

ロセッサを通じて、高度な IP サービスや Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) サービスを提供します。1 ポート OC-48c POS には、送信処理用と受信処理用に 1 つずつ、合計 2 つの PXF プロセッサが搭載されています。

拡張 OC-48 POS OSM の機能概要

Cisco 1 ポート OC-48c/STM-16 POS 拡張 OSM の利点を、表 1 に示します。

表 1 OC-48c/STM-16 POS 拡張 OSM の機能と利点

機能	利点
ソフトウェア アップグレードが可能なフィーチャセット (Cisco PXF ネットワーク プロセッサを使用)	Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) ベースの設計と同様のパフォーマンスを提供しながら、ソフトウェア アップグレードによって新しい機能に柔軟に対応可能
PXF IP サービス プロセッサあたり最大 5.5 Mpps のスループット	高いパフォーマンスによって回線速度の OC-48/STM-16 帯域幅に対応可能
OC-48 SONET ポートに加え、4 つのギガビット イーサネット ポートを装備	WAN と LAN の同時アクセスによって多様なアプリケーションに対応可能
PXF ネットワーク プロセッサあたり 256 MB の Direct Memory Access (DMA; ダイレクト メモリ アクセス) メモリ	PXF ネットワーク プロセッサあたり 8000 以上の QoS キューをサポート
シャーシあたりの MPLS レイヤ 3 Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンス数は最小 511、最大 1023	シャーシあたりのサービス密度がきわめて高く、エンド カスタマーの MPLS VPN サービスに対応可能
Class-Based Weighted Fair Queuing (CBWFQ; クラスベース均等化キューイング)、Low-Latency Queuing (LLQ; 低レイテンシ キューイング)、Weighted Random Early Detection (WRED; 重み付きランダム早期検出) など、拡張 QoS 機能のサポート	エンド カスタマーに対する SLA (サービスレベル アグリーメント) の改善
フレームリレー、ATM などのレイヤ 2 ネットワーク サービスを MPLS ネットワーク アーキテクチャで伝送可能	統合ネットワーク アーキテクチャを通じて、フレームリレー、イーサネット、ATM などのレイヤ 2 サービスと、インターネット アクセスや 2547 VPN などのレイヤ 3 サービスをいずれも提供可能

投資保護

シスコのお客様は Cisco 7600 シリーズを使用することにより、シスコ機器への既存の投資を有効に活用できます。Cisco 7600 シリーズには、拡張 OSM だけでなく、従来の Cisco Catalyst® 6000 シリーズの LAN インターフェイスを搭載することも、Cisco 7500 および 7200 シリーズの WAN ポート アダプタを搭載することもできます。その結果、Cisco 7600 シリーズは拡張性に優れ、DS-0 から OC-48/STM-16 の WAN インターフェイス、10/100 Mbps イーサネットからギガビット イーサネットや 10 ギガビット イーサネットまでの LAN インターフェイスに対応できます。

サービス プロバイダー環境に適した設計

Cisco 7600 シリーズは、サービス プロバイダー ネットワークが求めるハイアベイラビリティ要件を満たすことができるように設計されています。Cisco 7600 シリーズ ルータのシャーシはいずれも Network Equipment Building Standards 3 (NEBS-3) に対応しています。また、Cisco 7600 シリーズは、完全冗長構成によるルート処理や転送をサポートするとともに、Border Gateway Protocol Version 4 (BGP4)、Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS)、Open Shortest Path First (OSPF) などのコア プロトコルを使用したルーティング機能を備え、QoS やパケット フィルタリングもサポートしています。Cisco 7600 シリーズは、720 Gbps のス

イッチ ファブリックを通じて高い総スループットやポート密度を実現するため、サービス プロバイダーはセントラル オフィスのスペースを有効に活用できます。表 2 に、1 ポート OC-48c/STM-16 拡張 OSM が搭載された Cisco 7600 シリーズ ルータがサポートする OC-48 のポート密度を示します。

表 2 1 ポート OC-48c/STM-16 POS 拡張 OSM のシャーシ密度およびラック密度 *

OSM	Cisco 7609 のシャーシ密度	Cisco 7609 のラック密度
OSM-10C48-POS-X	OC-48 ポート × 7 およびギガビットイーサネット ポート × 30	OC-48 ポート × 14 およびギガビットイーサネット ポート × 60

* 次の構成の場合

- 各 Cisco 7609 シャーシに Supervisor Engine 720 × 1
- 各 Cisco 7609 シャーシに 1 ポート OC-48 POS OSM × 7
- 7 フィート ラックに Cisco 7609 シャーシ × 2

発注情報

表 3 に、OSM の部品および発注情報を示します。

表 3 1 ポート OC-48c/STM-16 POS 拡張 OSM のモデル

モデル番号	説明
OSM-10C48-POS-SS+	1 ポート OC-48/STM-16 SONET/SDH 拡張 OSM、シングルモード、短距離、4 ギガビット イーサネット (GE)
OSM-10C48-POS-SS+=	1 ポート OC-48/STM-16 SONET/SDH 拡張 OSM、シングルモード、短距離、4 GE (スベア)
OSM-10C48-POS-SI+	1 ポート OC-48/STM-16 SONET/SDH 拡張 OSM、シングルモード、中距離、4 GE
OSM-10C48-POS-SI+=	1 ポート OC-48/STM-16 SONET/SDH 拡張 OSM、シングルモード、中距離、4 GE (スベア)
OSM-10C48-POS-SL+	1 ポート OC-48/STM-16 SONET/SDH 拡張 OSM、シングルモード、長距離、4 GE
OSM-10C48-POS-SL+=	1 ポート OC-48/STM-16 SONET/SDH 拡張 OSM、シングルモード、長距離、4 GE (スベア)
MEM-OSM-128M	OSM 用の 128 MB ECC メモリ
MEM-OSM-256M	OSM 用の 256 MB ECC メモリ
MEM-OSM-512M	OSM 用の 512 MB ECC メモリ

技術仕様

OC-48c/STM-16 POS の仕様

SONET/SDH 準拠 :

Telcordia (Bellcore) GR-253-CORE (該当する場合)

ITU-T G.707、G.957、G.825 (該当する場合)

GR253-CORE に基づく 1+1 SONET Automatic Protection Switching (APS; 自動保護スイッチング) をポート単位、ラインカード単位、シャーン単位でサポート (該当する場合)

G.783 Annex A に基づく 1+1 SDH Multiplex Section Protection (MSP) をポート単位、ラインカード単位、シャーン単位でサポート (該当する場合)

カプセル化

IETF RFC 1661、PPP (ポイントツーポイント プロトコル)

IETF RFC 1973、フレームリレーでの PPP

IETF RFC 1662、High-Level Data Link Control (HDLC; ハイレベル データリンク制御) に類似したフレーミングでの PPP

IETF RFC 2615、PPP over SONET/SDH (1+x43 の自己同期ペイロード スクランプリング)

SONET/SDH エラー、アラーム、パフォーマンス モニタリング

Signal Failure Bit Error Rate (SF-ber; 信号損失ビット エラー レート)

Signal Degrade Bit Error Rate (SD-ber; 信号劣下ビット エラー レート)

Signal Label Payload Construction (C2)

Path Trace Byte (J1)

セクション :

Loss of Signal (LOS; 信号損失)

Loss of Frame (LOF; フレーム損失)

B1 のエラー カウント

B1 の Threshold Crossing Alarm (TCA; スレッシュホールド超過アラーム)

回線 :

Line Alarm Indication Signal (LAIS; 回線アラーム検出信号)

Line Remote Defect Indication (LRDI; 回線リモート障害検出)

Line Remote Error Indication (LREI; 回線リモート エラー検出)

B2 のエラー カウント

B2 の TCA

パス :

- Path Alarm Indication Signal (PAIS; パス アラーム検出信号)
- Path Remote Defect Indication (PRDI; パス リモート 障害検出)
- Path Remote Error Indication (PREI; パス リモート エラー検出)
- B3 のエラー カウント
- B3 の TCA
- Loss of Pointer (LOP; ポインタ損失)
- New Pointer Event (NEWPTR; 新規ポインタ イベント)
- Positive Stuffing Event (PSE)
- Negative Stuffing Event (NSE)
- Path Unequipped Indication Signal (PUNEQ; 未実装パス検出信号)
- Path Payload Mismatch (PPLM; パス ペイロード ミスマッチ) 検出信号

SONET/SDH 同期 :

- ローカル (内部) タイミング (ダーク ファイバまたは WDM 機器経由のルータ間接続)
- ループ (回線) タイミング (SONET/SDH 機器への接続)
- 20 ppm クロック精度 (完全動作温度)

ネットワーク管理 :

- ローカル ループバック
- ネットワーク ループバック
- NetFlow データ エクスポート
- RFC 1595、定期的なパフォーマンス統計 (現在、15 分、15 分の倍数、1 日間隔)
- リジェネレータ セクション
- マルチプレックス セクション
- パス エラー秒数
- 重大エラー秒数
- 重大エラー フレーム秒数
- コネクタ :
 - SC コネクタ

表 4 POS オプティカル仕様

ファイバ インターフェイス	出力電力		入力電力	入力感度	波長	
	最小	最大	最大	最小	最小	最大
シングルモード短距離	-10 dBm	-3 dBm	0 dBm	-18 dBm	1266 nm	1360 nm
シングルモード中距離	-5 dBm	0 dBm	0 dBm	-18 dBm	1260 nm	1360 nm
シングルモード長距離	-2 dBm	+3 dBm	-9 dBm	-28 dBm	1500 nm	1580 nm

ギガビット イーサネット仕様

IEEE 802.3z に準拠

GBIC ベースのギガビット イーサネット インターフェイス (SC コネクタ付) :

ギガビット イーサネット オプティカル仕様

GBIC の距離

1000BASE-LX : 最大 550 m の 50 μ m マルチモード ファイバ

1000BASE-LX : 最大 5 km の 9/10 μ m シングルモード ファイバ

1000BASE-LH : 最大 550 m の 62.5 μ m マルチモード ファイバ

1000BASE-LH : 最大 550 m の 50 μ m マルチモード ファイバ

1000BASE-LH : 最大 10 km の 9/10 μ m シングルモード ファイバ

1000BASE-ZX : 最大 70 km の 9/10 μ m シングルモード ファイバ

1000BASE-ZX : 最大 100 km の分散シフト型ファイバ

最大 4000 の VLAN を同時にサポートする IEEE 802.1Q VLAN トランキンク

Hot Standby Router Protocol (HSRP) のサポート

IEEE 802.3X の自動ネゴシエーション フロー制御のサポート

Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) 9192 バイトのジャンボ フレームをサポート

Cisco 7600 シリーズ システムの機能

ハードウェアベースの Cisco Express Forwarding (30 Mpps)

Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) の適用 (30 Mpps)

QoS の分類 (30 Mpps)

ポリシー ルーティング (30 Mpps)

システムあたり 128,000 のトラフィック アカウンティング エントリをサポート

Online Insertion and Removal (OIR; ホットスワップ) のサポート

WAN ポートあたり 200 ミリ秒のパケット バッファリングをサポート

ポート単位で SNMP バージョン 1 と 2、および 4 つの Remote Monitoring (RMON) グループ (統計、履歴、アラーム、イベント) をサポート

1 ポート OC-48c/STM-16 POS OSM の物理仕様

Cisco 7600 シリーズのシャーシの 1 スロットを使用

Cisco Catalyst 6500 シリーズのシャーシの 1 スロットを使用

WS-C6506 — Cisco Catalyst 6506 シャーシ

WS-C6509 — Cisco Catalyst 6509 シャーシ

WS-C6509-NEB — NEBS 環境の Cisco Catalyst 6509 シャーシ

OSM あたり OC-48c/STM-16 ポート × 1

OSM あたりギガビット イーサネット オプティカル ポート × 4

9 スロット シャーシに 1 ポート OC-48c/STM-16 オプティカル モジュールを最大 7 つ搭載可能

Cisco 7600 シリーズまたは Cisco Catalyst 6500 シリーズのシャーシでの必須条件

Supervisor Engine 720 : WS-SUP720-3BXL

Supervisor Engine 2 : WS-X6K-S2-MFSC2

Cisco 7600 シリーズまたは Cisco Catalyst 6500 シリーズのシャーシでの推奨条件

スイッチ ファブリック モジュール (Supervisor Engine 2 使用時にのみ必要)

256 Gbps のクロスバー ファブリック : WS-C6500-SFM

寸法 (高さ × 幅 × 奥行) : 3.0 × 35.6 × 40.6 cm (1.2 × 14.4 × 16 インチ)

重量 : 5 kg (11.0 ポンド)

電力要件 : モジュールあたり 201 W

Mean Time Between Failures (MTBF; 平均故障間隔) : システム構成に関して 7 年間

インジケータおよびインターフェイス

Status : グリーン (動作可能)、レッド (障害)、オレンジ (モジュール起動中または診断実行中)

Link Good : グリーン (ポートはアクティブ)、オレンジ (使用不可)、消灯 (非アクティブ / 未接続)、オレンジに点滅 (診断エラーによる使用不可)

プロセッサおよびメモリ

262 MHz の R7000 MIPS RISC プロセッサ × 1

アップグレード可能なパケット / ルート テーブル メモリ オプション :

64 MB ECC SDRAM (標準)

128 MB ECC SDRAM

256 MB ECC SDRAM

512 MB ECC SDRAM

Cisco PXF IP サービス プロセッサ :

Cisco PXF IP サービス プロセッサあたり分散 IP サービス アプリケーションを最大 5.5 Mpps で提供

ライン カードあたりの Cisco PXF メモリ (固定構成) :

Cisco PXF IP サービス プロセッサあたり 256 MB SDRAM のルート テーブル メモリ

Cisco PXF IP サービス プロセッサあたり 128 MB SDRAM のパケット バッファ メモリ (パケット単位の CRC チェック)

Cisco PXF IP サービス プロセッサあたり 8 MB SSRAM のパケット処理メモリ

MIB のサポート

SONET MIB (RFC 1595)

RFC 1157 SNMP

RFC 1901 - 1907 SNMP v2c

SNMP v3 MIB

IF-MIB (RFC 1573)

CISCO-STACK-MIB

CISCO-CDP-MIB

RMON MIB (RFC 1757)

ENTITY-MIB (RFC 2037)

HC-RMON

RFC1213-MIB (MIB-II)

SMON-MIB

IP Statistics MIB

HSRP MIB

CAR MIB

WRED MIB

RSVP MIB

Cisco RTTMON MIB

環境条件

動作温度 : 0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)

保管温度 : -20 ~ 65°C (-4 ~ 149°F)

相対湿度 : 5 ~ 90% (結露しないこと)

動作高度 : -500 ~ 10,000 フィート

適合規格および安全規格

UL 1950

CAN/CSA C22.2 No.950-95

EN 60825-1 Laser Safety (クラス 1)

21CFR1040 Laser Safety

IEC60825-2

EN60950

IEC 60950

TS 001

AS/NZS 3260

EMC 準拠

FCC Part 15 (CFR 47) クラス A

VCCI クラス A

EN55022 クラス A

CISPR 22 クラス A

AS/NZS 3548 クラス A

EN55024

CE マーキング

NEBS レベル 3 準拠

Cisco 7600 シリーズ シャーシは、次の仕様に基づいて NEBS レベル 3 の適合認定を得ています。

GR-63-CORE - NEBS : 物理保護

GR-1089-CORE - NEBS : EMC および安全性

ETSI 準拠

ETS-300386-2 スイッチング機器

最低限必要なソフトウェア リビジョン

Cisco IOS[®] ソフトウェア リリース 12.1(12)E (Supervisor Engine 2 を使用する場合)

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.2(17a)SXA (Supervisor Engine 720 を使用する場合)

©2004 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL: 03-6655-4433

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問合せ先